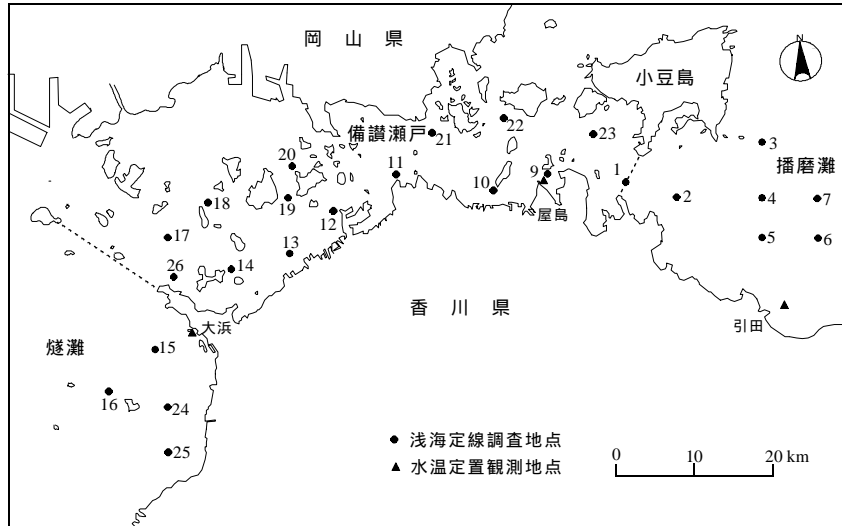


# 香川県漁海況速報 平成17年 5月 (H17- 2号)

香川県水産試験場

## 1. 海況

### 1) 観測地点



### 2) 浅海定線調査

#### (1) 調査日

平成 17 年 5 月 9 日 (播磨灘), 10 日 (備讃瀬戸, 燧灘)

#### (2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「平年並みからやや高め」、塩分は「かなり低めからやや低め」、透明度は「平年並み」、溶存酸素は「かなり低めから平年並み」であった。

		水温 ( )			塩分 (PSU)			透明度	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層	(m)	表層	底層
播磨灘	7地点平均値	14.3	13.7	12.7	31.6	31.7	31.8	9.4	5.48	5.26
	平年値	14.1	13.2	12.1	32.2	32.3	32.4	8.4	6.06	5.43
	平年偏差	0.2	0.6	0.6	-0.6	-0.6	-0.6	1.0	-0.58	-0.17
	状況	平年並み	やや高め	やや高め	やや低め	やや低め	かなり低め	平年並み	かなり低め	平年並み
備讃瀬戸	14地点平均値	14.6	14.4	14.3	32.0	32.0	32.0	5.8	5.35	5.30
	平年値	14.1	13.8	13.7	32.5	32.5	32.5	5.7	5.64	5.59
	平年偏差	0.5	0.6	0.6	-0.5	-0.5	-0.5	0.1	-0.29	-0.29
	状況	やや高め	やや高め	やや高め	やや低め	やや低め	やや低め	平年並み	やや低め	やや低め
燧灘	4地点平均値	16.6	13.9	13.0	32.2	32.5	32.5	9.8	5.37	5.04
	平年値	15.6	13.6	12.6	32.8	32.9	33.1	10.3	5.73	5.17
	平年偏差	1.0	0.3	0.4	-0.6	-0.5	-0.6	-0.5	-0.36	-0.13
	状況	やや高め	平年並み	平年並み	やや低め	やや低め	かなり低め	平年並み	やや低め	平年並み

平年偏差 = 平均値 - 平年値

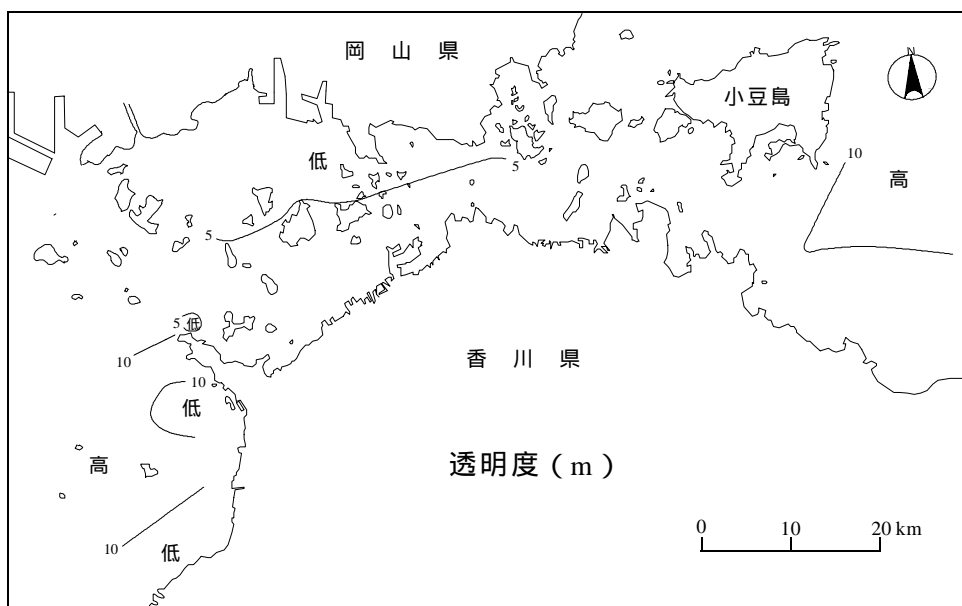
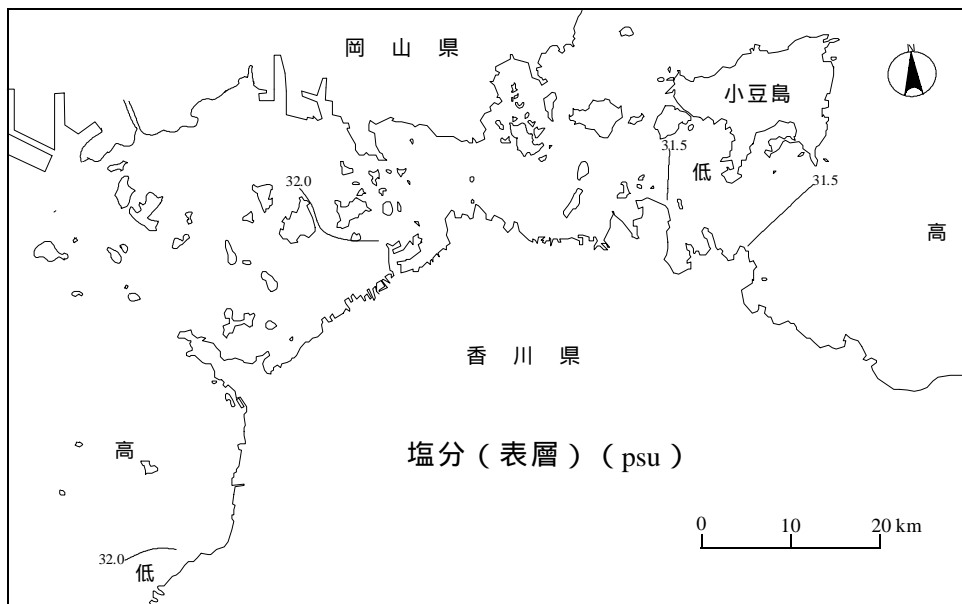
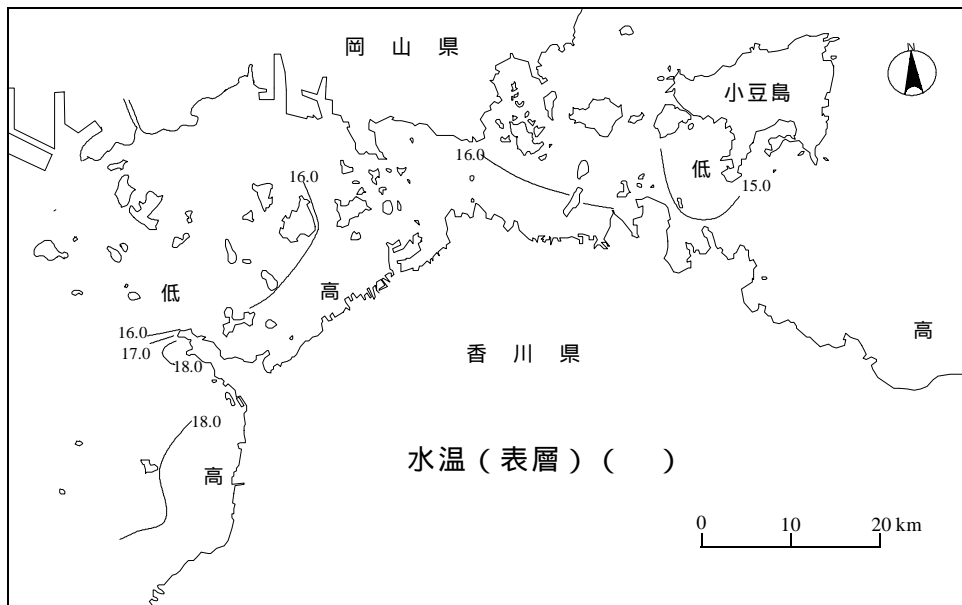
平年値の算出期間

水温, 塩分及び透明度: 昭和 48 年 (1973) 1 月 ~ 平成 13 年 (2002) 12 月

溶存酸素: 昭和 48 年 (1973) 2 月 ~ 平成 13 年 (2002) 12 月

水温は, 毎月 1 日の値に補正。

平年並み	0	平年偏差 < 0.6	( : 標準偏差)
やや高め (やや低め)	0.6	平年偏差 < 1.3	
かなり高め (かなり低め)	1.3	平年偏差 < 2.0	
著しく高め (著しく低め)	2.0	平年偏差	



## 2) 定置観測(水温)

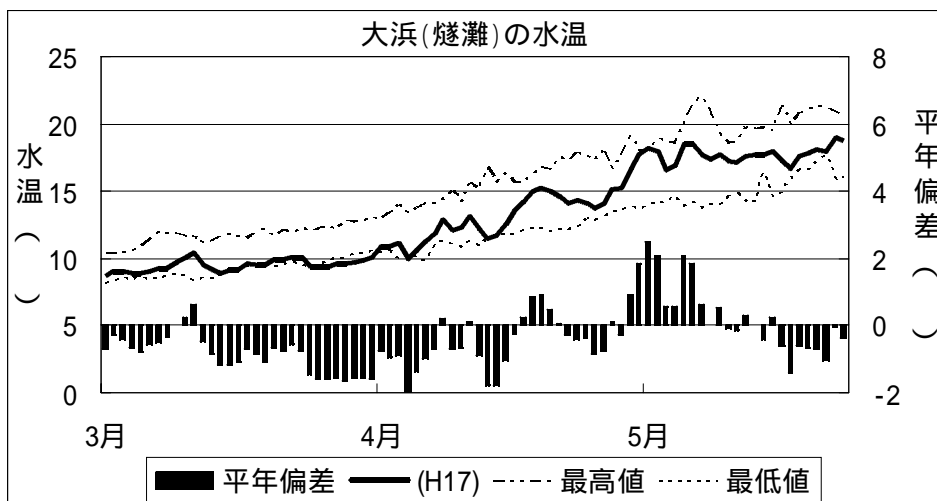
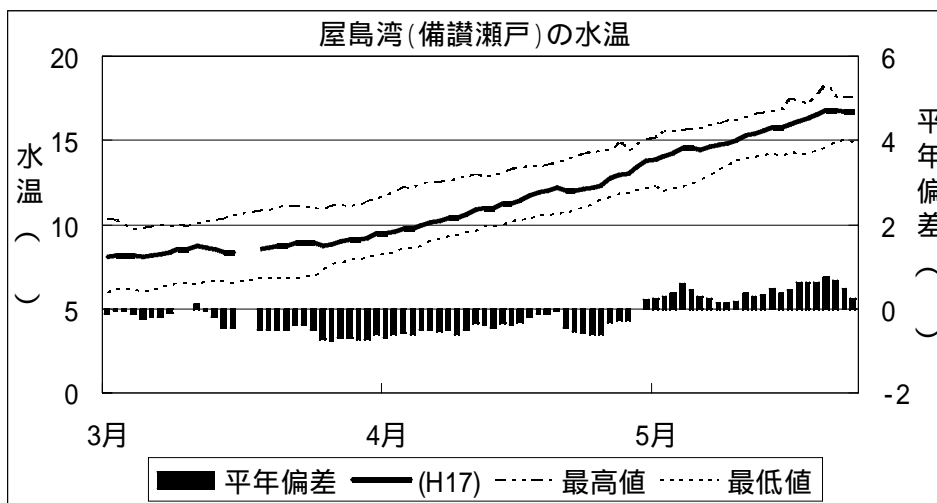
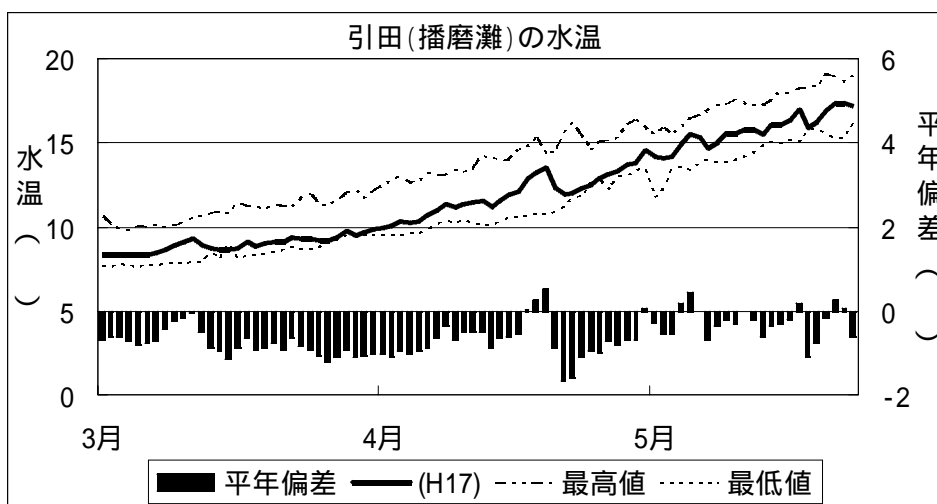
播磨灘(引田): 4月上旬は平年偏差が - 1 前後で推移し、中旬に 0.5 から - 1.7 まで大きく変動した後、5月に入り平年値前後で推移している。

備讃瀬戸(屋島): 4月上中旬は平年偏差が - 0.7 前後で推移し、月末から平年値を上回り 0.5 前後で推移している。

燧灘(大浜): 4月上旬は平年偏差が - 1 前後で推移し、中旬平年値前後で大きく変動し、月末から上昇し5月上旬は 1 前後で推移した。中旬から小さくなり平年値前後を推移している。

平年値の算出期間 引田及び大浜: 平成元(1989)~平成14(2002)年

屋島: 昭和50(1975)~平成14(2002)年



### 3) 赤潮

播磨灘：5月, *Noctiluca scintillans* の赤潮の発生があった。

備讃瀬戸：5月, *Noctiluca scintillans* の赤潮の発生があった。

燧灘：発生なし。

### 4) 卵稚仔

調査日：平成17年5月9日(播磨灘), 10日(備讃瀬戸, 燧灘)

出現量

個(尾) / 曳網

	カタクチイワシ		マイワシ		サワラ		その他の魚類	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	10.50	1.60
備讃瀬戸平均	5.90	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	13.90	1.70
燧灘平均	52.40	4.90	0.00	0.00	0.10	0.00	100.60	13.10
総平均	15.23	1.23	0.00	0.00	0.03	0.00	33.23	4.33

対平年値

	カタクチイワシ		マイワシ	
	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%
備讃瀬戸平均	567.3%	71.4%	0.0%	0.0%
燧灘平均	116.3%	211.2%	0.0%	0.0%
総平均	109.0%	159.7%	0.0%	0.0%

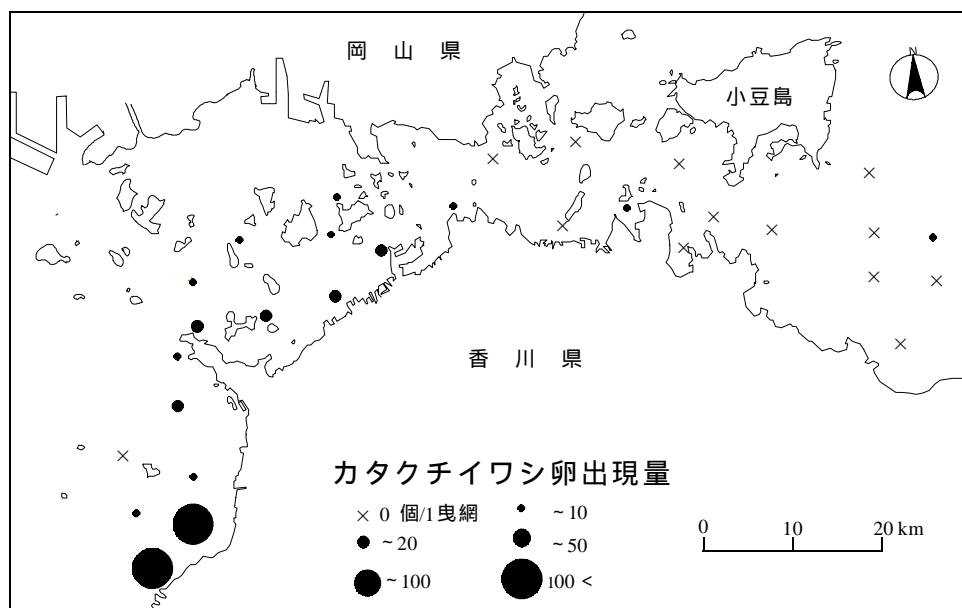
- : 平年値が0の場合を示す。

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55(1980)～平成16(2004)年度

マイワシ：平成5(1993)～平成16(2004)年度

各調査点のカタクチイワシ卵の出現量は、次のとおりである。



## 2. 漁況

4月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網は主にウシノシタ類、アカガイ、シャコ、トリガイ、マコガレイが漁獲されている。</p> <p>ます網では主にボラ、コノシロ、スズキ、クロダイ、コウイカ類が漁獲されているが、ウマヅラハギ、マダイが前年に比べて少ない。</p> <p>サワラ流し刺し網は4月25日から操業が開始され、3才魚主体に3～10尾/隻・日の漁獲である。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、イイダコ、マアナゴが漁獲されている。</p> <p>高松・庵治沖のイカナゴ込網の4月の漁獲は、シンコ漁が豊漁であったため、不漁であった前年を大幅に上回った。</p>
燧 灘	<p>底びき網では主にシャコ、コノシロ、トカゲエソが漁獲されている。</p> <p>ます網ではマダイ、ウマヅラハギ、スズキ、ヒラメ、コウイカ類が漁獲されているが、ウマヅラハギ、マダイが少ない。</p> <p>さより機船船びき網は5月に入って150～200kg/日・隻前後の漁獲量に増加した。大きさは大主体になって魚価が高くなっている。</p>